



# CAGLIERO 11

カリエロ



192 2024年 12月

## サレジオ会宣教ニュース

サレジオ会宣教部門によるサレジオ会共同体・サレジオ・ミッションの友人のための通信



### 友人の皆さん、

希望について語るの、簡単ではありません。かつて簡単だったことは一度もありません。特に人は、自分が混乱した世界と人生の虚無の深淵との間に挟まれ抜け出せなくなっているのを見いだすからです。しかし、人類は、前進する道をいつも見いだしてきました。私たちは希望で出来ているからです。私たちは母親の胎内にいるときから光を見るのを待ち望み、初めて歩き出すと、いつか走ることを望みます。十代の日々を経験しながら、独立し、自信をもって安定することを夢見ます。青年期には、学びながら専門性を身につけたいと願います。召命を識別しながら、豊かで幸せな将来を望みます。希望は人を満たし、その人を完成させます。人は希望で出来ているのです。

現実に関心を向け、前進できる理由をその中に見いだすよう、希望は今日、私たちを導きます。苦しみをもたらすあらゆる状況を超えた向こうに、変容の 때가 私たちを待っています。父なる神の幸いな抱擁にたどり着く時まで。希望は私たちをより善い者とし、信仰を共に歩み、愛に力を与えてくれます。

私は願います。あなたが決して腕を垂れることなく、私たちがサレジオ会員とするものを再発見させてくれる方にまなざしを向けますように。若者のため、愛と希望のしるしとなるために。

■ ローマ本部 広報部門  
リカルド・カンポーリ神父,  
SDB

## すべての国へ赴くため、あらゆる国から呼ばれて



「教会」という言葉は、「集会」を意味します。イエス・キリストを信じる人、皆の集会です。イエスの脇腹から血と水が流れ出した聖金曜日に、教会は「生まれ」ました。五旬祭の日に聖霊が降り、使徒たちは、復活された主への信仰をすべての民に告知せしめはじめました。聖パウロは教会について、**キリストの体**(1コリント12・12-14)と言っています。聖霊の働きを通して、教会のすべての人は、隠された、しかし真に生きたかたちで、唯一の仲介者、救いに至る唯一の道であるキリストに神秘的に結ばれています。(カトリック教会のカテキズム805, 第二バチカン公会議公文書「教会憲章」7)

イエス・キリストはまことの人、まことの神であり、教会はキリストの体であり、聖なるものです。しかし、教会は常に**改革と刷新を必要としています**。なぜなら教会に属する人々は、罪の汚れをおびた人間だからです(第二バチカン公会議公文書「エキュメニズムに関する教令」6)。聖アウグスチヌスは強調しています。「教会は聖人を展示する博物館ではなく、罪びとのための病院である」と。教会の一部の人々の罪によって、教会への愛が減退することがあってはなりません。なぜなら、教会は、歴史の終わりにはじめて到達する完成に向かって歩んでいるからです(同、「教会憲章」48)。「戦いの後の野戦病院のようなものとして、私は教会を捉えています」と教皇フランシスコは述べています。「傷をいやし、信徒の心を温める力があるのです。」(2013年8月19日)

教会の神の国との関係は本質的で不変なものです。教会は、神の国の種子、しるし、**神の国に奉仕する道具**です。イエスから受けた使命に忠実に、教会は差し迫ったその使命に促され、喜びにあふれて福音を分かち合いながら進みます。絶えず地の果てまで赴きながら、挑戦や障壁を前にしても疲れたり意気消沈したりすることなく、堅忍します。教会は自らのために存在するのではなく、キリストの光を映すものとして存在し、その使命は、キリストの光をすべての民の上に輝かせることです(「教会憲章」1)。圧力や強制、信仰の押しつけを通してではなく、キリストの近しさ、共感、温かさ、あわれみを通して輝かせるのです。

ドン・ボスコは、**教皇への無条件の忠実**によって、自分の信仰について無知な人々、あるいは信仰の実践をやめてしまった人々、特に貧しい見捨てられた若者への福音宣教の取り組みによって、そして福音をいまだ聞いたことのない人々への宣教の取り組みによって、教会への愛を表しました。

■ 宣教顧問

アルフレッド・マラヴィジャ神父 SDB

### 振り返りと分かち合いのために

- 私は教会への愛を、具体的にどのように表しているだろうか？
- 自分の福音宣教の取り組みを、どうすれば伸ばせるだろうか？



# エルサルバドルで希望を運ぶ サレジオ家族



マリアノ神父様、エルサルバドルのサレジオ会、サレジオ会事業は、どのような状況にありますか？

中米のエルサルバドルに最初のサレジオ会員たちが来たのは、1897年12月2日でした。ラファエル=アントニオ・グティエレス大統領（在任1895-1898）の要請に応じてのことでした。エルサルバドルや中米全域でサレジオ会事業が始まったのは、アメリカ大陸のさまざまな国でサレジオ会の評判が高まったためでした。

現在、エルサルバドルでのサレジオ会の事業は、サン・ホセ校、サンタ・セシリア校、リカルド・ド・ネ技術専門学校、扶助者聖マリア教会、そして最大の事業であるドン・ボスコの町があります。ドン・ボスコの町には、聖ヨハネ・ボスコ教会、ドン・ボスコ校、職業訓練センター、ドン・ボスコ大学があります。

サレジオ家族は、エルサルバドルの人々の希望を支えるために、どのようなことを行い、また行うことが可能ですか？

エルサルバドルのサレジオ家族は、サレジオ会のほか、サレジアン・シスターズ、神なる救い主修道女会（サレジオ会のペドロ=アルノルド・アパリシオ司教によって創立された女子修道会）、サレジアニ・コオペラトリー、ADMA（扶助者聖マリアの会）、サレジオ婦人会（Damas Salesianas）があります。

多くの困難があります。この国はここ数十年にわたって武力紛争を経験し、現在も続くさまざまな問題のため、私たちは、共に歩む誰かを必要とする若者たちの叫びに耳を傾けています。「希望は欺くことがない」と、私たちは確信しています。なぜならサレジオ家族は、日々の活動やあらゆる事業、ドン・ボスコの予防教育法の体験から差し出すすべてにおいて、希望を運び続けるからです。

神父様はエルサルバドル人ではないけれどもエルサルバドルで働いています。エルサルバドルでのサレジオ的なアプローチは、ほかとどのように違うと思いますか？

管区の一員だという意識によって、私たちは、6つの国を一つのサレジオ会宣教地と捉えます。国の違いで区別したりしません。それぞれ歴史上の時々が生じた必要に応じて事業が生まれ、発展しました。

エルサルバドルはサレジオ会が最初に到着した国で、事業は成長して非常に活力のある教育事業として確立したと言えます。そして、サレジオ会員を派遣してほしいというほかの国からのさまざまな要請に、この地から応えたのです。現在、グアテマラは力をつけ、いくつかの養成支部があり、教育活動のほか宣教事業に取り組んでいます。ほかの国（ホンジュラス、ニカラグア、コスタリカ、パナマ）では、主に教育活動が行われ、小教区も司牧しています。



マリアノ・ミランダ神父, SDB

私はニカラグア出身です。サレジオ会員として3回、マナグア（ニカラグアの首都）で暮らしました。23年間、エルサルバドルのさまざまな事業で働いてきました。現在は、エルサルバドルの最も人口の多い地域の一つ、ソヤパンゴの中心にある大規模な事業「ドン・ボスコの町」で働いています。



## エルサルバドル 豆知識

フ  
ォ  
ー  
ラ  
ム

- 「エルサルバドル」とは「救い主」を意味します。
- サレジオ会はソヤパンゴでドン・ボスコ大学を運営しています。
- エルサルバドルには5つの国立公園があります。
- エルサルバドルは中米で最も小さな国。常設の軍隊がありません。
- 市バスがエルサルバドルの公共交通手段。
- 国民食はパプーサ。トウモロコシ粉または米粉で出来た厚い平形パン、チーズやチチャロン（豚の皮をカリカリに揚げたもの）、カボチャ、豆などを中に詰めています。



12月  
サレジオ  
宣教の  
祈りの意向

## 希望の巡礼者のために

エルサルバドルのサレジオ家族のために、  
また人々のうちにキリスト者の希望を支えるその働きのために。

この聖年が信仰において私たちを強め、人生のうちにおられる復活されたキリストに気づかせ、キリスト者の希望を生きる巡礼者へと、私たちを変容させますように。| 教皇フランシスコの祈りの意向 |

エルサルバドル  
のために

